

常時遠隔監視を実現

リークネットセルラー | 豊橋市の実証で成果

フジテコムは、クラウド型IoT遠隔漏水監視システム「リークネットセルラー」を開発、豊橋市上下水道局をはじめとする国内23の事業体で実証実験を行い、成果を得たことを契機として本格的な販売を開始する。同社の従来器「フジリークネットLNI-1」は、分析器を持って各ロガーを回りデータ回収を行う必要があった。これに対しリークネットセルラーは、従来器のロガーに携帯電話通信網「LTE-M」(LPWA)を組み込んだ。

リークネットセルラーは、「LTE-M」を通じてクラウドサーバーへ自動で収集。データはブラウザで確認できるため、庁舎内に設置したパソコンからだけでなく、現場や在宅勤務時のタブレット・スマートフォンから

でも確認することが可能。ロガーからのデータ転送は毎日行われ、場所

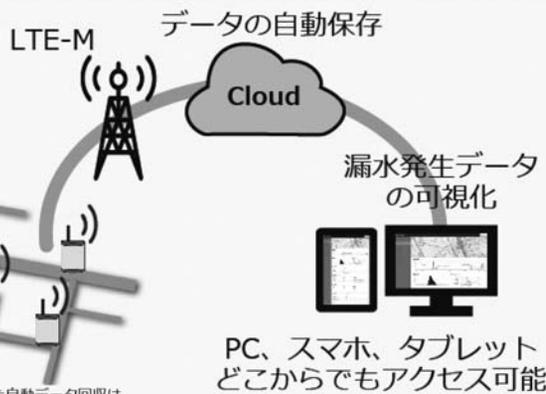
や時間を問わず、いつでもどこでもリモートで管路の漏水監視が行える。IoT活用による業務効率化はもちろん、従来の漏水調査のように調査員が現地に行く必要がなく、地域住民に不安を与えることもないことから、新型コロナウイルス感染症の対策としても有効とされる。今後の展開に期待が集まる。

豊橋市上下水道局水道管路課維持修繕グループ担当者の話 豊橋市では、平成25年度から従来器「フジリークネット」を導入し、漏水発生時のリスクが大きい大口径管や鉄道・国道等の直下など28カ所に常設し、職員

効とされる。今後の展開に期待が集まる。

豊橋市上下水道局水道管路課維持修繕グループ担当者の話 豊橋市では、平成25年度から従来器「フジリークネット」を導入し、漏水発生時のリスクが大きい大口径管や鉄道・国道等の直下など28カ所に常設し、職員

が現地に出向いて月2回のデータ収集を行ってきた。現在、新型である「リークネットセルラー」の実証実験を行っているが、データ収集が自動で毎日行われるため、漏水発見時の迅速な対応が可能となるほか、局舎にいなからデータをタブレット上で確認でき、業務上の利便性・効率性も向上した。今後はより長期間の設置を想定した実証実験を継続していく。また、昨年度から本市の一部世帯で実証試験中であるスマートメーターとの連携や、小規模事業者に対する遠隔技術支援等への活用可能性にも期待している。



リークネットセルラーのイメージ

漏水音の最小音圧値を記録

※携帯電話網(LTE)を使用した自動データ回収は現場状況に左右されます。

IoTによる漏水監視を。

事務所にいながら毎日漏水確認！

いつでもどこからでもリモート監視



※LTE-Mは既存LTEの一部同波数帯域を利用する、国内で最も注目されているIoT通信技術です。

NEW リークネットセルラー

ISO 9001 認証取得 (GM4215)
フジテコム株式会社
 みず、みち、いのち。

本社 〒101-0025
 東京都千代田区神田佐久間町二丁目20番地
 翔和秋葉原ビル3階 ☎ (03) 3862-3196
<https://www.fujitecom.co.jp/>

札幌 ☎ (011) 864-9511 北日本 ☎ (022) 222-2011
 東京 ☎ (03) 3865-2960 信越 ☎ (026) 232-3521
 中部 ☎ (052) 933-4891 大阪 ☎ (06) 6362-6755
 広島 ☎ (082) 261-0939 九州 ☎ (092) 474-3225